

「るい」通信

発行：アイリス合同会社 東京都府中市宮町1-11-2-402 <https://grouphome-louis.com/>

環境教育を活かした支援の取り組み

「環境への関わりが社会との交流を生み、
 QOLの維持・向上にも役立ちます」

※QOL: Quality of Life

環境教育を障がい者支援に

学生時代、環境教育の世界を知り、自然体験活動を教育プログラムとして普及する仕事を起業しました。現在、「環境」を入口として学びの機会を得るネットワークづくりをめざしており、「るい」でもその視点を活かしたいーそんな思いから環境教育を障がい者支援に取り入れています。

環境教育の計画を立て、その一歩として「るい」のビジョンをつくろうと職員が意見を出し合ったところ、「みんなできつしよに」「きれいにしたい」「地域交流」「イベントが好き」という4つのキーワードが出てきました。



「るい」創設メンバー

古平恵一

楽しみながら環境を学ぶ



そこで、行ったのが「るい鎌ヶ谷Ⅱ」で10月18日に行ったイベント、「クリーンビング」です。目的は、地域の方々に「るいグループホーム」の存在を知っていただき、いっしょに環境を考えること。地域連携会議としても位置付けました。ビングの話題として全部で9つ用意しました。これらはその一部です。

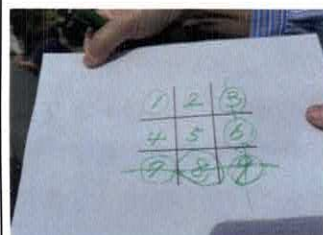
- ① ふちがギザギザの葉っぱ
- ② 木の实



③ ゴミ
 ④ 良い匂いがするもの
 ⑤ 臭いもの
 ⑥ スベスベするもの
 当日、入居者様などの参加者は、ホームの庭、その周辺へと目を向けながら、お題のものを五感を使って探し出し、シートにその数字を書き入れて、ビングを完成させました。近所のお宅の前でお題のゴミを拾ったりしていると、声をかけていただいたりして、「るい」の存在を知っていただき、交流もできました。

参加者からも、アンケートで「環境を良くするために何かしたいと思った」「また、こうした活動がしたい」という感想が聞かれました。同様のアクティビティは100種類あり、他の「るい」グループホームでも同様の試

「るい鎌ヶ谷Ⅱ」では2026年も環境教育を取り入れたイベントを開催していきます



みを実施していく予定です。
 「るい」創設メンバー、古平恵一

